

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日：令和4年 12月 10日

公表：令和5年 1月 12日

事業所名 デイサービスほっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		様々の活動にあわせた環境設定をしている	スペースの面では広いと思われるが利用者の相性や活動内容によるレイアウトの工夫などは行っていきたい
	2	職員の配置数は適切である	○		個別への対応を意識して配置している	利用者が今年は満員ではなかったため配置はできていたと思われるが今後のことを考え募集はしていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		エレベーター、手すり、車いす対応トイレなど。	一般的な設備は用意しているが個人個人における対応が異なるため適切とは言えないが施設の現状を事前に説明しながらすすめていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○	個別支援計画、アセスメントにおける会議の実施、ケース会議などを行っている	検討会議では時期的に実習生なども一緒に参加している。ただ現場スタッフのさらなる参画を検討していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	面談等でも意見を伺うようにしている	事前の説明等がないとやっているかやっていないかというところは不明になってしまっていた。行えていないこともありスタッフと考えていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPにて公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在第三者評価は実施できていない。コストの部分で改善できれば外部評価も行いたいと思う
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフミーティングでの研修、ケース会議など	2、3カ月に1度職員全体でのミーティングを行っている。今年度は主にケース検討や虐待防止などの勉強会などを行っている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○	保護者の方に向けて作成している	契約時に保護者の方から本人さんの様子や利用における希望など現在求めていることなどを伺っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		地域の事業所とアセスメントを作成した	今年度より地域の事業所数か所とアセスメントの共用することで情報把握の整理が行いやすくなるようにしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフと検討している	主な活動は担当職員が行い細かな課題などの提案作成は個人で提案が出てきているが振り返りも行っていきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			固定化しないように努めている	基本的な流れは利用者の安定のため変えないようにしているが内容には個々に合わせたうえ前回の活動などと重ならないようにするなどしているが本人のニーズにも対応できるように努めていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	利用時間に合わせて課題を設定している	きめ細やかにはと言えない時間が長くないとできないこと(調理など)を設定したりしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		なるべく個別活動のみにならないようにしている	社会生活へ向けての計画を作成しているため個別支援だけにないように気をつけているが対象者によっては個別の支援のほうがニーズが強い方は個別活動が優先してしまっている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングなどで予定を話している	午前中に休日を除いてミーティングが行われている。(休日の特にスタッフの対応が必要な内容には事前に打ち合わせをしている)
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日のミーティングなどで話をする	支援終了時間が送迎、個別の記録などで一定にならないため、そのときのメンバーでは話をするがそれ以外は翌日に業務記録を確認しながら行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務の記録をとっている	日々の記録は取っているがまだまだ支援での改善は必要と思われるため検討をしていきたい

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング検討会議を行っている	半年に1度モニタリング検討会議を実施し個別支援計画の見直しなどを検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○	ガイドラインを確認している	基本的なところを把握しながら当法人の特色を出しているように支援していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		参加できている	会議の日程等にもよるが基本的には対応しているスタッフが参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校との情報、連絡は行っている	学校側からの情報提供などはいただいている。今後新設学校においても連絡等も送迎時にいただけたり対応などもしていただける予定
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	行ったことがない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	対象者がいない	小学生の利用者がいないため就学前の機関との情報共有は行っていないが他の日中一時、放課後等デイとの連絡は取ったりしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		実習等で行っている	障がい福祉サービスあるいは企業等への移行のための実習などの結果をうけて支援内容を検討する、問い合わせ等があれば活動の情報提供などを行い、事業所から出た意見を基に課題等も検討することも行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	ケース検討は行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		以前は中学校のボランティアが来ていたが現在は行われていない。ボランティアとして高校生、大学生が来ることはある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		参加している	協議会から「放課後等デイサービス連絡会」が独立した。その中での交流は行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者の方とのやりとりは行っている	「共通理解」とまで言えるかわからないが送迎時、あるいは面談時などで日頃の状況について話している
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者支援自体は行っていない	保護者の方から対応力などの質問はほとんど出たことがない。多少聞かれたらこちらの検討できる範囲でお話する程度	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		面談において話をしている	契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には対応している	送迎時や面談時に相談等がありその時にお話はさせていただいている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		支援等はできていないが保護者主催の会に呼ばれて話をすることはある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口がある	要望等は対応しているが迅速かつ適切になれるように努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		会報等は行っていない。利用状況に応じて予定を決定しているため予定等は個人個人に対して伝えている
	35	個人情報に十分注意している		○		個人情報が出ないように気を付けている。情報の開示等は難しい部分も感じている

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや希望者には連絡帳のやりとりをおこなっている	発語の少ないあるいは無い方などへの対応として、絵や写真を使って行っているがまだまだ意志が伝わらず理解されないことからのパニックもあるので検討していきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の保護者団体には解放している	行事などは特に行っていないが地域の保護者の方などには希望があれば空いている時間を利用いただいている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	緊急時対応マニュアル、感染症に関するお願いなどはあるが防犯に関するマニ	緊急時対応マニュアルなどの掲示などが保護者の方もみえる場所、施設などの徹底なども行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を行っている	避難計画を作成し現実に沿った災害を想定し普段から災害に対応できる訓練に取り組んでいく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内での会議は行っている	虐待防止委員会を設置し研修やケース会議などを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束があり得る場合はできるだけ計画に明記している。事前の身体拘束における同意書をとって	突発的に身体拘束となることもあるが、基本的には多動の方で危険が伴う場合には計画に盛り込んでいる。ただその改善に向けた取り組みも含めてスタッフと検討していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報を基に対応している	アセスメントや保護者の方からの情報を基におやつ、食事などで対応するようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハット行っている	事例集になるほど事例ができていないので今後も行っていく